

思いやり

第 12 号

発行者

名農高生徒指導部

平成30年10月2日（火）



衣替えシーズン、冬服です。

10月1日は日本各地で衣替えの時期となります。夏の暑い季節に使用したサマーウェアもお疲れ様の任務終了となり、秋から冬にかけてのウェアになります。

先日冬服での服装容儀指導が行われました。その結果51名の生徒が再検査となりました。9月25日（火）から冬服への移行期間としていましたので、ほとんどの人は心の準備ができていたと思いますが、服装ではなく頭髮や爪の長さを注意されている人が多いようでした。整髪や散髪、爪は自分で気を使わなければいけません。まだ自分のことをしっかりできない人が見られますので、しっかりと自分の身の回りのことができるように注意しましょう。服装は冬服に替わっても、通学時は制服です。人前に出るときは制服。常に心がけてください。そしてしっかり着こなしてほしいと思います。

また、服装容儀指導に先立って話したことに、「フォーマルウェア」という言葉を言いましたね。この意味は、「日常と違った改まった装い」と言われていますが、今では「その場にふさわしい品格のある装い」とされています。制服は、冠婚葬祭を含め、いろいろな場面で着こなすことができる「優れもの」なのです。「大切に」そして「しっかり」と着こなしてほしいと思います。

台風24号で中間考査初日休校 and 指示されたこと + 1

10月1日（月）は、台風24号の影響で列車が上下線とも運休となり、学校も休校の措置をとりました。皆さんは、中間考査を一日で実施することになり、大変だったと思いますが、いかがでしたか？



さて話は変わりますが、服装容儀の時にも言いました。言われたことだけをやっていればいい。と思っている人が多いと思います。言われたことだけをやって終わった～と思っていると、後から「アレをやっておけば良かった。」「コレをやっておけば良かった。」という後悔を感じたことのある人は多いのではないのでしょうか。つまり、言われたことに「もう一つ」やっておけば便利だったんじゃないか、役に立たたはずじゃなかったのか、など後になって悔やんでいた記憶はありませんか？「やっておけば」後々に自分自身を助けることにもつながった可能性はありますね。

働いている人たちの話を聞くと、特に若い人に多いようですが、「言われないと動けない」「指示されないと動けない」と嘆いていました。与えられた仕事はそれなりにやるけれども、終われば黙ってその場にいたり、何をするわけでもなく担当の人が来るまでその場で待っている。と言うのです。やっておけば便利なこと、役に立つことがあるのなら、少し考えてみればいいと思うのですが、その習慣が身についていないわけです。今までは、誰かがやってくれていたのです。今日からは自分の周りの状況、自分の勉強や実習、部活動など次のことを考えて、是非プラス1の行動に心がけてほしいと思います。学年行事にもつながるヨ。



◆生徒の本分◆

学校を休まない・勉強する・きまいを守る